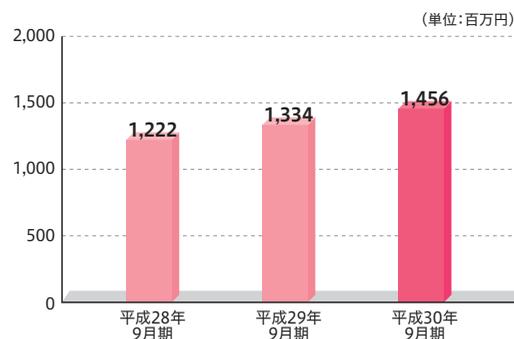


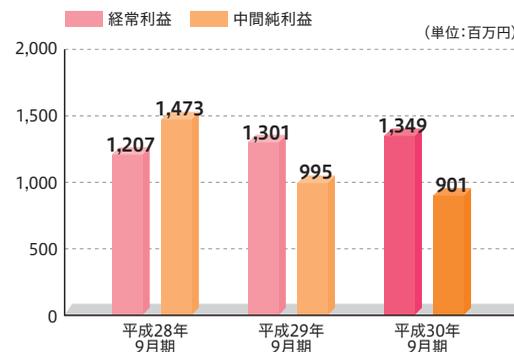
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が減少したことなどから、前年同期比1億22百万円増加の14億56百万円となりました。



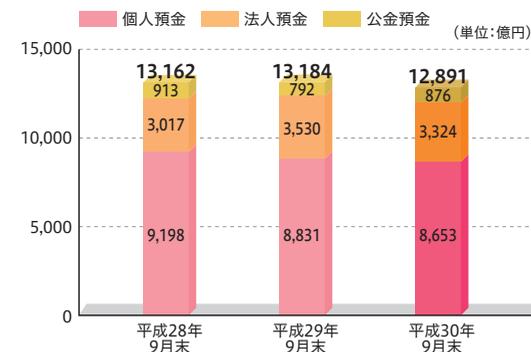
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は、前年同期比48百万円増加の13億49百万円、中間純利益は、前年同期比93百万円減少の9億1百万円となりました。



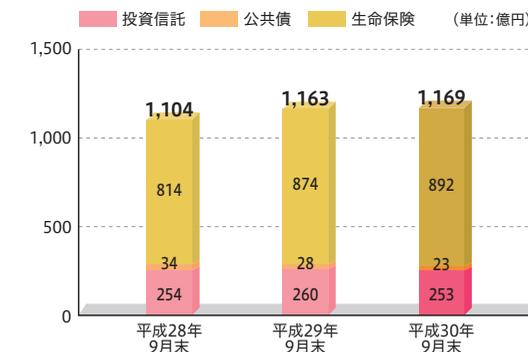
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、公金預金が増加したものの、個人預金および法人預金が増加したことなどから、平成29年9月末比293億10百万円減少の1兆2,891億67百万円となりました。



預かり資産の状況

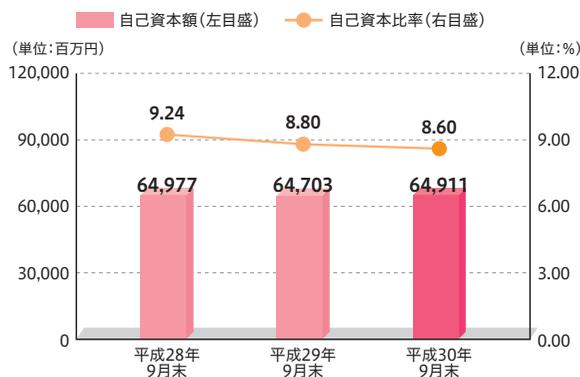
預かり資産残高は、お客さまの保険運用ニーズが依然として高く、生命保険残高が増加したことなどから、平成29年9月末比5億81百万円増加の1,169億47百万円となりました。



(注)生命保険残高は、有効契約残高を記載しております。

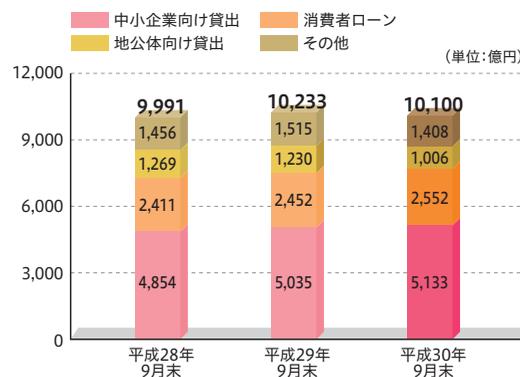
自己資本比率の状況

単体の自己資本比率は、中小企業向け貸出に注力したことに伴いスクアセット(分母)が増加したことなどから、平成29年9月末比0.20ポイント低下の8.60%となりました。



貸出金の状況

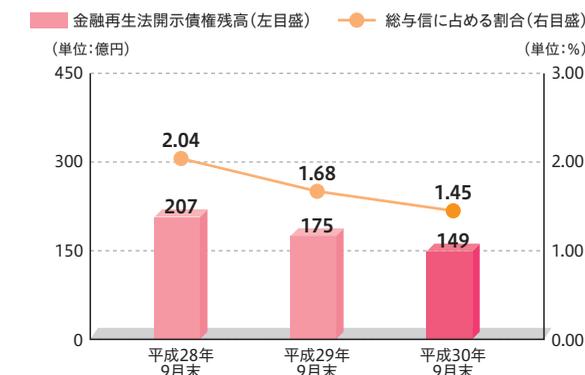
貸出金残高は、中小企業向け貸出が増加したものの、地方公共団体向け貸出や市場性ローンを政策的に減少させてきたことから、平成29年9月末比133億3百万円減少の1兆100億67百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成29年9月末比25億80百万円減少の149億92百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成29年9月末比0.23ポイント低下の1.45%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



用語解説

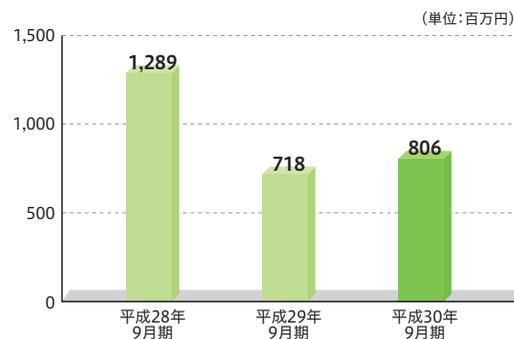
■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

■ **経常利益** 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。  
 ■ **中間純利益** 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

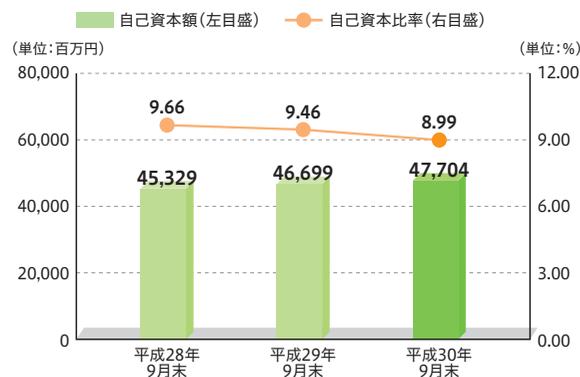
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したものの、国債等債券損益を除く其他業務利益、役務取引等利益が増加したことに加え、経費が減少したことから、前年同期比87百万円増加の8億6百万円となりました。



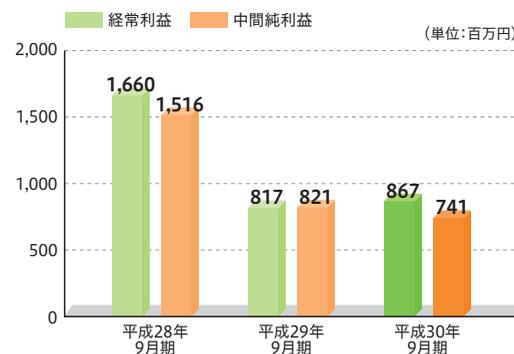
自己資本比率の状況

自己資本比率は、中間純利益を7億41百万円計上し、自己資本額(分子)が増加しましたが、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、平成29年9月末比0.47ポイント低下の8.99%となりました。



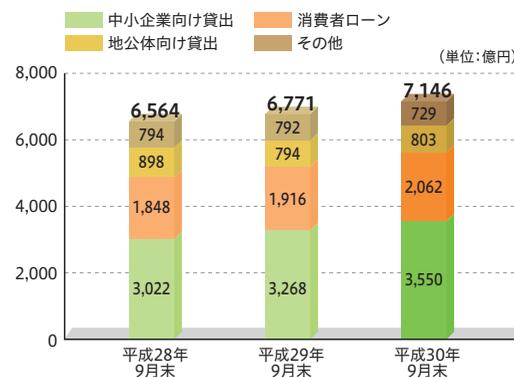
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は、前年同期比49百万円増加の8億67百万円、中間純利益は、前年同期比80百万円減少の7億41百万円となりました。



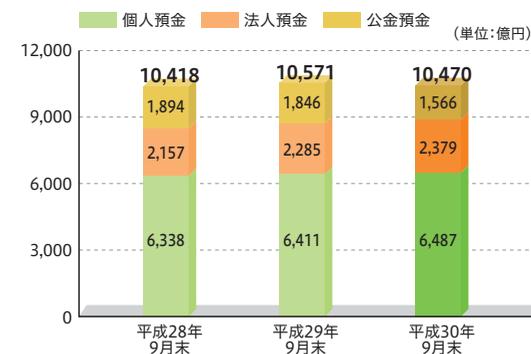
貸出金の状況

貸出金残高は、お客さまの様々な資金需要への迅速かつ積極的な対応により、中小企業向け貸出や住宅ローンが増加したことなどから、平成29年9月末比374億69百万円増加の7,146億64百万円となりました。



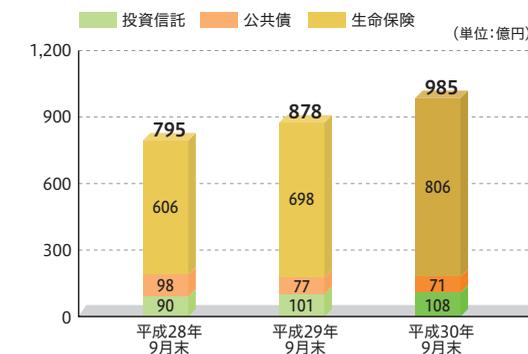
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、法人預金と個人預金が増加したものの、公金預金の減少により、平成29年9月末比100億99百万円減少の1兆470億7百万円となりました。



預かり資産の状況

預かり資産残高は、お客さまの資産運用ニーズへの対応により、生命保険残高が増加したことなどから、平成29年9月末比107億44百万円増加の985億82百万円となりました。

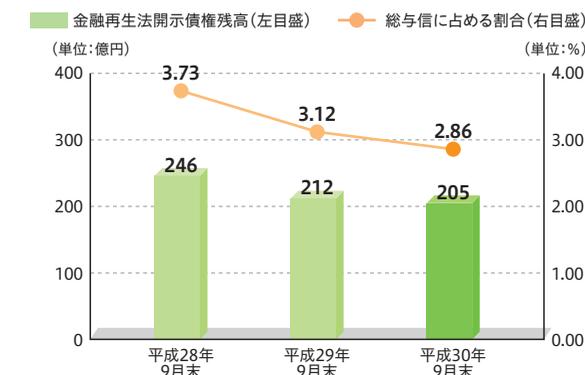


(注)生命保険残高は、有効契約残高を記載しております。

金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成29年9月末比7億39百万円減少の205億30百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成29年9月末比0.26ポイント低下の2.86%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

■ **経常利益** 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。  
 ■ **中間純利益** 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。